

## 電子くじのしくみ

例) 入札参加者3社 (A社、B社、C社) が同額入札の場合

(1) 「抽選番号」を付与 (A社、B社、C社の順に入札書が局に到達)

業者名	抽選番号
A社	0
B社	1
C社	2

入札書の到達順に「0、1、2、・・・」の「抽選番号」を付与

(2) 入札書の「くじ番号」及び「乱数」の和を求め、同額入札者数で除し、余りを算出

業者名	くじ番号	乱数	計
A社	592	713	$592 + 713 = 1305 \rightarrow \underline{305}$
B社	066	469	$66 + 469 = 535 \rightarrow \underline{535}$
C社	874	289	$874 + 289 = 1163 \rightarrow \underline{163}$

乱数：電子入札システムで自動的に3桁の番号を付与

「くじ番号」と「乱数」を合計し、それぞれの下3桁を合算

$$305 + 535 + 163 = 1003$$

$$1003 \div 3 \text{社} = \text{商} : 334 \text{ (余り : 1)}$$

(3) 落札者の決定

業者名	抽選番号	落札者
A社	0	
B社	1	落札
C社	2	

「抽選番号」と「余り」が合致したB社が落札者に決定